

おはようございます。

4月に、私は3年生の修学旅行についていきました。その中で見つけた3年生の素晴らしい姿を、今日、4つ紹介したいと思います。

(1) 「こんにちは」 (板書)

1つ目。

生徒会を中心に取り組んできたこと。戸隠中の伝統になりつつあります。

食事場所や見学場所で出会う人たちに「こんにちは」「こんにちは」……「どこからきたの?」「戸隠って何処にあるの?」自然に会話が生まれます。「元気のいい挨拶でこっちも元気になります。」法隆寺のガイドさんが笑顔でお話くださいました。

テレビはうそをつきません。魔法の言葉です。AC～。学校の外でもちゃんとあいさつできる。本物です。

(2) 「はきものをそろえる」 (板書)

2つ目。

1日目の夕食後、内田先生よりこんな提案がありました。「はいてきたスリッパをそろえてみませんか。」2日目、みんなが集まる時には、どンドンスリッパが揃っていきました。最初に来た人がきちんとそろえる。次の人はその横へ。そろえることを忘れてしまう人も中にはいます。しかし、次に来た人が直してくれる。最後には見事にスリッパが揃っていきました。1年の学年通信にもありましたが、「はきものをそろえる」ことは、自分にけじめがつきます。みんなの心も揃っていきます。

学校の下駄箱でもできませんかね。上履きは奥までしっかり入れる。下履きはかかとをへりにそろえる。そろっていない人がいたら気付いた人がそろえてあげる。どうでしょうか。

(3) 「話す人に体を向けて」

3つ目。(横へ移動) 生徒たちは移動した方向へ体を向け、話を聞く姿勢をとる。

「素晴らしい。」(元の場所へ移動し、板書) 夜の反省会の時、「校長先生、一言お願いします」。すると、後ろにいた私のほうを一斉に3年生が向きます。顔だけじゃないんです。体ごと私の方を向くのです。戸隠中では、入学式や卒業式などの来賓紹介の時に、来賓の方の方へ体ごと向けてお話を聞きます。この姿は話を耳で聞くのではなく、体全体で受け止めようとする、素晴らしい姿だと私は思います。

授業中でもできませんかね。発言する人に体を向け、体全体でその人の発言を聞く。仲間を大切にした行為。名前を呼ばれた時の「はい」という返事と共に、日々の授業でできませんかねえ。

(4) 「戸隠親善大使」 (板書)

最後。(冊子を見せながら) 3年生は一人1冊、この冊子を持って修学旅行にいきました。1, 2年生で調べてきた戸隠に関することをまとめたものです。自分たちのふるさと戸隠のことをPRしようと考え、出会った人に渡してきました。旅行から帰ると京都の嵐山のお土産屋さんからメールが届いていました。(メールを読む)「…自分たちの住んでいる地域のことを学び、よい点と悪い点をマーケティングすることより、地域を知り、中学生たちが自分たちの地域を誇りに思うような教育をしていくことも非常に大切であると考えております。是非、これからもこういった取り組みを継続され、長野を、戸隠を誇りに思えるような人材の育成に精進されることを祈念しております。…」今年、それぞれの学年ごとに戸隠の中で戸隠に住む方々と一緒に汗を流しながら学習する体験学習があります。その中で、戸隠の素晴らしさを改めて知ってほしい、自分のふるさと戸隠を愛する心を育ててほしいと願います。

今日は、3年生の修学旅行で見つけた素晴らしい姿を紹介しました。今年の生徒会が目指している戸隠中の伝統づくりの参考になればうれしいです。
終わります。